



あがまち

No.51
2018.2

議会だより 津川病院建替要望



- ・ 県立津川病院建替の知事要望 …… 3P
 - ・ **12月定例会議** …… 4P
 - ・ 一般質問 …… 8P
 - ・ 町民の広場 …… 17P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
発行責任者：議長 猪俣 誠一
メールアドレス：gikai@town.agal.g.jp

11月1日、中野小路たかまろさん 阿賀町観光大使として委嘱

たかまろさんからのコメント

この度、初代阿賀町観光大使に任命していただき心より有り難く思っております。

これからも我が故郷、魅力ある故郷阿賀町のために微力ながら、PR活動をしていきたいと思っていますので、ご協力よろしくお願ひ致します。



中野小路たかまろさんと町長

12月3日、町道川口岩谷線寿橋の竣工式が行われた。
現在、県では阿賀野川を渡河する（仮称）白川大橋の整備を進めています。この橋の完成により、国道49号や磐越道三川ICへのアクセスが格段に改善されます。

人権擁護委員候補者の推薦に同意

大竹衛一氏

(太田区)

人権擁護委員候補者に



新潟地域振興局津川地区振興事務所提供

皆さんのご意見提言をお待ちしています。
どんどんお寄せ下さい。 阿賀町議会 TEL 0254-92-3112
メールアドレス qikai@town.aqa.jp FAX 0254-92-5725

広報広聴當任委員会

政 盛 栄 一 朗 鮎 晴 也
太 隆 弘 隆 嵐
倉 藤 川 五十川 池
入 斎 石 五 宮 小 清 野
長 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員
委 員 員 員 員 員

ホームページURLでも本会議の会議録が閲覧できます。
ご活用下さい。

<http://www.town.agu.niigata.jp>

今日、異常気象が地球規模で大きな災害が起きている。

町内は特に小雪の年末年始でした。昨年は県立病院について米山知事に要望書の提出。地域と語る会では少子高齢化社会のなか、後継者や空き家問題など特に議会はサル、イノシシ等の鳥獣被害をテーマとして取り上げ、町としても重点的にとりくんでいます。私たち議員も皆さんの中声を反映できるよう努めてまいります。

今後も、町民の視点に立った紙面づくりにいっそう力を入れ、議員の資質向上はもとより、町政の発展につながる広報づくりに努力していきます。

編集後記

今日、異常気象が

た災害が起きている
町内は特に小雪の年末年始でした

町議会、県知事に要望

県立病院の建替と機能拡充、人員の増員を

議会は昨春の一般選挙により改選され、12名でのスタートとなりました。町民のみなさまからの声を広く議会に反映し、従前と変わらぬ議会運営を図る為、常任委員会の委員構成の改正を図り、従前は事務を所管する常任委員会へは一人1常任委員会への所属でありました。複数の常任委員会への所属を可能にして、諸会議に多くの意見を反映させると共に、議会として審議の活性や議員間の情報の共有を図ることに努めてまいります。

町は合併の方、人口の減少が止まる事が無く、少子化・高齢化が著しく進行いたしております。此の事から、議会は町の活性を目指し、委員会活動のみならず、全員協議会や必要に応じては町民の皆様から参加を頂く「一般会議」等を開催し、みなさまからのご意見・ご提言を集約する中で、全議員で事務事業の審議を重ねてまいります。

また、町には多くの課題が山積しております。防災拠点整備や黎明高校をも含めた修学環境整備、町活性の原動力となる経済振興、進む高齢化を踏まえての福祉施策整備、さらには、経営が難航している三セクの処遇等、議会としても町と課題を共有し、みなさま方のご意見をいただく中で、課題の克服に努めてまいります。町民の皆さん、豊かな暮らしと安全・安心の為、男女を問わず地域活動の原動力となる若い担い手の皆さんの議会への参加を宜しくお願ひいたします。

結びに、町民のみなさま方の声が反映できる議会運営を図る為、多くの方々の議会への参加をお願い申し上げますと共に、すべての町民のみなさま方の益々のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



要望書、米山県知事に提出

町議会は昨年11月9日、沢野県議会副議長を介して、町長と全議員が県庁で米山知事に対して、県立津川病院の早期建替え案と改築工事の着手、外来診療科目の充実等を要望した。

米山知事は「耐震性がない以上、なんらかの対処が必要。建替も一つ（の選択肢）としてしつかり検討させていただきたい」と前向きな発言があった。

以前から毎年、町議会は要望事項の早期実現を町村議會議長会に提出してきました。これからも実現のため努力してまいります。



阿賀町議会議長 猪 保 誠 一

新年を寿ぎ謹んで新年のお慶びを申し上げます

謹賀新年



石田 守家	山口 周一	斎藤 栄	宮川 弘懿	清野 真也
猪俣 誠一	石川 太一	小池 隆晴	神田 八郎	
齋藤 秀雄	五十嵐 隆朗	入倉 政盛		

早期建替が期待される
県立津川病院

總文社厚事務調查報告

- ・買い物難民対策と空き校舎利活用対策
 - ・公共交通対策と告知端末電話活用

總文社厚常任委員會
委員長 齋 藤 秀 雄

買い物難民対策のスーパー

日南市はバス事業への助成金が膨らむことから見直しを検討した。直営バス運行を決断し、地域交通の確保を図った。

まとめ

当町においても経費の膨らみは避けられない課題なので来年度の公共交通対策の見直しに議会として提言することにした。

告知端末説明会

管外調查

委員会活動レポート

平成29年度一般会計補正予算
1億5,600万円を追加し
総額を131億1,066万円とした

主な歳入

- ・ふるさと寄附金 1億3,000万円
 - ・国庫支出金（災害復旧負担金 他） 862.5万円
 - ・県 支出金（民生費補助金） 372.6万円
 - ・繰越金 634.5万円
 - ・町債（川まちづくり、災害復旧） 680万円

主な歳出

- ・ふるさと納税寄附謝礼金 6,410万円
 - ・還付金（みかわ温泉補助金） 3,907.3万円
 - ・住民基本台帳委託金 220万円
 - ・介護基盤整備事業 732.6万円
 - ・川を活用したまちづくり 500万円
 - ・街路灯修繕費 200万円
 - ・消防用運営費（災害復旧） 353.8万円
 - ・道路災害復旧費 820万円



介護基板整備事業あっとほーむたまち

主な特別会計補正予算

○介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算

- ・介護予防、生活支援サービス事業 551.9万円
 - 介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算
 - ・居宅介護支援事業 270.5万円
 - 簡易水道事業特別会計補正予算
 - ・津川地区簡易水道施設修繕費 160.2万円

◎簡易水道事業特別会計補正予算

- ・津川地区簡易水道施設修繕費……………160.2万円

- ・阿賀町職員の給与に関する条例の一部改正
- ・人事院勧告に準じて条例の改正
- ・阿賀町国民保険税条例の一部改正
- ・法改正による条例の改正
- ・阿賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・非常勤職員の規定の改正
- ・阿賀町公共施設設置条例の一部改正
- ・みかわ会館を削除
- ・阿賀町温泉施設設置条例の一部改正
- ・y u o &湯ホテルみかわを削除
- ・阿賀町温泉給湯条例の一部改正
- ・新三川温泉を削除

いしだ もりや いえ
石田守家 議員

いしだ もりや いえ
石田守家 議員

（次期）について、私は石田議員より高齢、加齢とともにあります。全く考へません。わけではありません。現段階は町政業務に没頭しております。ご指導下さる皆さんのご意向も伺い、十分加味しご支援、ご対応して参りたい。

奥阿賀観光(株)と統合も計画されている
(みかぐら荘)

いしだ もりや いえ
石田守家 議員

（危険区域）について、私は新潟県の崩壊危険区域指定地、高低差が大きい。小出川と滝沢川沿いにある住宅二軒に隣接された箇所は単管パイプによる転落防止柵を設置してある。住民の生命を守ることを重点に力を入れている。

いしだ もりや いえ
石田守家 議員

（危険防止策）についてのこと、現状はなにも防止策等はされていない、いか適切した施策を講じた

問 町政運営の継続はどうか 来年11月の町長選に意欲を

答 今は、行政管理をしっかり進めたい
町長選は将来的課題、現在は町政の職責果したい

決断は近い将来

町長 主要である

（質問）年が明けたら町長選が話題となる。私も間もなく後期高齢者です。後期高齢者の神田町長の今日までの行政手腕を評価したい。

（質問）年が明けたら町長選が話題となる。私も間もなく後期高齢者です。後期高齢者の神田町長の今日までの行政手腕を評価したい。

高齢者に期待

（町長）年齢もある部分非常に多い。皆さんの意向も伺い、今すぐ申し上げられませんのでご理解をいただきたい。

（質問）職務に専念する意思が強い、残された課題は多い、三セク等重大問題もある。やるべきことは町政全般、年齢ではない管理能力が問われている。

民家裏の崩壊は

（町長）新潟県の崩壊危険区域指定地、高低差が大きい。小出川と滝沢川沿いにある住宅二軒に隣接された箇所は単管パイプによる転落防止柵を設置してある。住民の生命を守ることを重点に力を入れている。

（質問）ご指摘された、繩も標識もない管理状況、再度降雪時どう対応されたらいい。

危険・注意等の標識もない
上川地区（牧野区）

一般質問



活用されていない三宝分小学校の校舎

平成29年12月定例会議では、8人の議員から一般質問があり、町政全般について活発な議論が行われました。

1、石田 守家

- ・町政運営の継続に意欲的な考えは
- ・牧野区の民家裏崩壊復旧状況はどうか

5、入倉 政盛

- ・国保広域化にむけ到達と課題は
- ・第7期介護保険事業計画の進展状況は

6、斎藤 栄

- ・有害獣サル対策

7、斎藤 秀雄

- ・阿賀町活性化
- ・少子高齢化社会の今後

8、清野 真也

- ・交流人口の増加対策
- ・廃校後の校舎・保育園の利用促進
- ・ふるさと納税

4、小池 隆晴

- ・公共施設のあり方はどうなる
- ・空き家の問題解決になるのか

*一般質問=議員が執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明をもとめ又は疑問を質すことをいう。本町議会の場合「一問一答方式」で質問時間は、答弁を含め一人一時間以内となっている。



入倉政盛 議員

問 町の国保広域化に向けた到達と課題は

答 仮算定のため本算定でどのような変化があるか分からぬ

質問 本算定は2018年1月の早い段階で示される。仮算定では県内で4自治体が上がる。阿賀町も若干上がる。現状の到達では保険税が上がるることを回避することは厳しい。

町長 激変緩和措置として都道府県繰入金や特例基金の活用で国保税の大幅な増加にならないよう、速報値は1月初旬、確定値の内示は中旬から下旬です。仮算定では、町は激変緩和措置の対象となっている。30年度の保険税率は激変緩和措置をいただく前提で設定したい。

質問 保険税が上がることを回避することは極めて難しい状況です。結果次第では皆さんにご理解いただかなければならぬ。

質問 町でも介護離職があるか。「介護離職ゼロ」に向けた対応が出来ているのか。

質問 本算定は2018年1月の早い段階で示される。仮算定では県内で4自治体が上がる。阿賀町も若干上がる。現状の到達では保険税が上がるることを回避することは厳しい。

町長 激変緩和措置として都道府県繰入金や特例基金の活用で国保税の大幅な増加にならないよう、速報値は1月初旬、確定値の内示は中旬から下旬です。仮算定では、町は激変緩和措置をいただく前提で設定したい。

質問 保険税が上がることを回避することは極めて難しい状況です。結果次第では皆さんにご理解いただかなければならぬ。

問 第7期介護保険事業計画の進展状況は

答 第7期にあっても県計画との整合性を図りながら策定していく

質問 平成30年度からスタートとなる医療計画との整合性の確保は。

町長 医療介護総合確保促進法に基づき2025年に向けた医療供給体制を整えるため、県は新潟地域医療構想を定め、新潟県医療計画の年度内策定にむけた協議が進められている。

町長 町は、従前から介護、医療、福祉、保険の各分野が連携した地域包括ケアを進めている。第7期にあたつても、県計画との整合性を図りながら関係者と連携を密にした体制をとつていく。

質問 介護給付費財政調整交付金の第7期計画期間における激変緩和措置は。

町長 高齢者の年齢区分が現行の2区分から3区分となり、新たに85歳以上の区分が設けられた。年齢が高い高齢者の割合が多い市町村に重点配分するよう変更される。65歳以上の第1号被保険者の保険料算定に影響するので、85歳以上の割合が高い阿賀町は従前よりも幾分優位になると期待している。

問 公共施設等総合管理計画は

答 管理計画は策定済み

問 今後の公共施設の在り方は

答 検討委員会で話し合っている



小池隆晴 議員

質問 保育園や小・中学校が統合される中で、施設の再利用や維持管理が問題となっている。これからの公共施設の在り方をどのように考えているか。

町長 不要な施設であつても維持管理費が発生する。経費を少しでも削減するため町有財産利活用等検討委員会を発足させ、施設に限らず土地や物品を含めて、利用頻度を含めた現状の把握、方向性の検討、評価、方向性の決定を図るべく府内議論を進めている。

質問 施設の統合に利用需要が変わってくる。急に公共施設の状況を把握し、更新、統廃合、長寿命化を計画的に行う事により財政負担の軽減をできると考えるが、そのようなことも検討員会で話し合っているのか。



交通の便利なところにある町の文化センター、活用に期待する

質問 建物を建てるときの町長の基本的な考えはどうか。

質問 大きな原因は人口問題だが、雇用が都市部に集中していることや、長寿命化による介護施設の利用増加、さまざまな原因が絡み合っての問題だ。人口が減少している。空き家解体に一番の問題は、お金の問題と思っている。

質問 町の空き家バンクにほどのくらいの登録があるのか。

総務課長 20件弱です。

町長 壊したものは掛らない。土地に税金がかかる。

居宅部分と二〇〇m以内は住宅用地として軽減される。それ以外はその他の宅地と言うことで倍ぐらいになる。



空き家の大きな問題のひとつ、屋根の雪下ろし

問 空き家の問題解決なるか



さいとうひでお
齋藤秀雄 議員

町の活性化に向けて 町長の英断を望む

在り方を協議することは、阿賀町の最重要課題です。今、組織を超えた協議する場を求める。町長 ボート場付近の河川公園整備事業や麒麟山公園の整備は農林商工課主体で事業推進してきた。内容は施設整備から交流人口増加に向けた計画で関係する各課とも連携してきた。しかし指摘の通り今後は組織枠を超えた体制を検討し、県と協議していく。組織の肥大化しないような体制を構築していく。

質問 阿賀の里の再生には町長の英断が必要です。現状は経営者不在です。

阿賀町の観光拠点として川を生かしたまちづくりと合わせて「阿賀の里」拠点化策の検討必要ではないか。舟下り事業はどのように検討されているのか。

施設の更新対策も必要ではないか。

町長 阿賀の里再生アートを作成中です。観光拠点として魅力ある施設にすべく取り組む。川を生かした事業で舟下りや老朽化施設更新等にも取り組み、従業員の教育にも力を入れたい。
町民も利用したい施設に転換できるか検討したい。

田長 来年度予算編成の中で少子化対策や高齢者対策を検討している。保護者会との協議はしている。しかし、少ないようにも感じるのでも検討する。他町村から移住したいと思われる対策も検討させたい。

温泉無料利用については高齢者だけではなく町民が利用しやすい制度を検討したい。また、福祉関係施設職員が多くいることを念頭に意見を求める。



さいとう
斎藤 さかえ
栄 議員

問 猿害対策は役場全体での取組みが必要

答 人員確保し、出没予測等を
情報発信

副腎 末梢 神經

診断の実施を呼びかけていく。
有害鳥獣対策専門の地域
おこし協力隊員が、3月で
任期終了となる。阿賀町を
拠点に起業したいとのこと
なので、連携して今までの
対策を継続したい。
地域支援員制度等の活用
し人員の確保・増員を図つ
て出没予想等の必要な情報
発信をしていく。

取り組むようにした
質問 猿の追い払いは、地域の組織化が必要だ。町は、猿被害対策について地域への啓蒙活動と、猿の習性等の勉強会やリーダー講習会を設置して、地域が積極的に追い払いを実施できる環境を考えてほしい。

町長 町は、今後も専門家による講演会や勉強会の実施に合わせ、地区リーダー育成を図りながら、集落診断や対策方法の検討、そして事業実施に向けた合意形成、対策の成果を上げるためにも積極的に支援していく。



ICT通報システム概要

の呼びかけや勉強会や集落

取り組むようにしたい

※用語解説
ICT通報システムとは、感知力メーターをインターネットに接続し、写った獣を電波で送信、市役所のコンピュータでGPSで解析し、地域の区長や獣友会に知らせる。

町民の広場

募集しています あなたも書いてみませんか?

議会では「町民のひろば」の投稿を広く募集しています。書いてみたい方は議会事務局までご連絡ください。後日、広報委員が伺います。

議會事務局 92-3112

地域活性化に思う

田崎英司さん（津川8区）



女性消防隊の仲間と共に

清野 周さん (水沢区)

出産を機に阿賀町へ越し18年が経ちました。当初は耳慣れないと感じた言葉や風習に驚くばかりでした。しかし、生活習慣の違いに臆すまいしなく馴染むことがでもたのは、同居している義母や親戚、近く所の方々のおかげであると田々感謝しています。豊かな水と緑、そして温かい人。阿賀町はとても魅力のある町です。

3年程前から、阿賀町消防団女性消防隊にお誘い頂き活動を始めました。入団しても

昔」の編集作業を通して感じたことは、わが港町も空家と一人暮らしの家庭が増え、地域での交流が難しくなっていることでした。また、人口は明治時代に戻りつつあります。この課題解決の第一歩は、各地域で続いている伝統的な行事や人的交流を促す活動を盛んにすることです。

私ども港町氏子は、狐の嫁入り行列当日、住吉神社境内に「案内所を開設し、側面

から勝手な立場で応援をしていました。
そこでは「写真の展示」「狐の御籠」「見どけの紹介」等々を行い、関東関西・仙台や外国人の観光客にも喜んでもらいました。各地域では、農家民宿など町全体で観光客をもてなす工夫も可能です。身近な小さな特色を生かし積極的に取り組むことから地域の活力は生れます。行政も、議員も町民も自分



狐の嫁入り行列



防火普及活動（保育園）

問 交流人口増加に向けた対策を

答 観光協会にやらせていく

A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. The image is circular.

せい の しん や
清野眞也 議員

観光協会がうまく機能しないなかで、行政が主体となり交流人口の増加に積極的に関わっていくべきであり、具体的なアイデアはないのか。

例えば、姉妹都市の提携・旧49号線の大牧地区の観光利用やボート競技以外への宿泊補助を行う等の施策を行ってはどうか。

町長 交流人口の増加に 대해서は、観光協会がうまく機能していないということですが、やっていますし、やらせていきます。みんなからもご理解、ご協力を賜りたい。ご指摘いただいた点も、私自身が提案をするなどして、やつていきたいい。姉妹都市に關しては、かつてやつており、再度検討をしてみる価値はある。

けた対策を町は持っているのか。

ふるさと納税の
使い道の明確化を

問 ふるさと納税に クラウドファン ディングの導入を

答 地域の利用状況を協議しながら進めていく

園の利用促進は

質問 廃校後の校舎、保育園の利用促進について

間事業者からのアイデアを

けるかも懸念材料となるが、今後大きな財源となる可能性もあり、将来を十分に考えた上で検討をしていく。

してのイベントなどは、現状難しい状況であるが、一番いい景色であり、あえて使うなら船を通すのが一番なのではないかと考えている。

ボート競技以外への補助の拡大は、これから推移を受け、ほかのジュニアス

税の使い途を、地域の実情に応じて工夫し、ふるさと納税を活用する事業の趣旨や内容、成果を出来る限り明確にすること。具体的にガバメントクラウドファンディングとふるさと納税を行った方との積極的な交流の2点があり、阿賀町では

※用語解説

◎サウンディング型市場調査→町有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通じて市場性等を検討する調査のことです。横浜市、新潟市など一部の先進自治体が取り組んでいる手法です。

◎ガバメントクラウドファンディング→自治体主導のクラウドファンディング、自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。